

あとがき

## アイロン

※このあとがきは『アダバナ』と『Creeping Night』の二作品分のあとがきとなっております。勿論、ネタバレが含まみますのでご注意ください。

どうも、アイロン(einrotte)です。両作品とも5000字ときっちり詰めております。それではまず『アダバナ』からどうぞ！

### 【アダバナ】

まずはアダバナから。テーマが『悪』という事で、悪事を企んでいる側と、それを知りながら助長する側を書いてみました。

悪を成し遂げようとするには、その行為が悪であると認識している必要があります。そして、それ以上にこれから悪い事をするんだぞという迷いとその先の覚悟が必要なのだと思います。

これから悪い事をしようとする際に、一度迷い、新たな道を模索する。それもまた正しい悪なのではないのかなと思います。

ここ最近の私の書き方として、世界観作りをどうしても重視してしまうので、慣れない言葉に四苦八苦ししながら描写しようとしております。恐らく今回の文章ではそれがありありと分かってしまう程稚拙かもしれませんが、どうかご容赦を。

このタイトル『アダバナ』ですが、同じ企画参加者であるTinaさんの作品に花に関してのお話があったので、こっちもお花を使いたかったという理由からスタートしました。……花言葉のあるのも出したかったけど、今回は出せなかったです。

因みに徒花とは広辞苑によると、

【徒花】…①咲いても実を結ばない花。

②はかなく散りゆく花。

③季節外れに咲く花。

という意味になります。個人的にはどれも創作意欲が掻き立てられる意味合いで良かったです。どの意味合いでタイトルをつけたのかは御想像にお任せします。

2作目という事ですが、悪についての解釈はアダバナと似通っております。どちらか死んでいるお話で、プロローグな点も共通しております。

その為、今回あとがきを一緒にした方がいいかなと感じて、この仕様となりました。最初は童謡風で綴っていき、後からだんだんと説明っぽくなっております。読み始めはぼんやりと全体像を掴んで欲しいかなと思ったので、受け入れやすい童謡風に。果たしてその思惑は成功したのかはわかりませんが。

勢いで書き続けていたら6500字となったので、苦手な戦闘シーンを削った形となります。でも、削ったおかげで案外読みやすくなっているのかなと思います。

キャラクターの名字については、楽器に詳しい方ならピンと来るネーミングとなっております。代表楽器も用いたりいつも以上に中二っぽく遊んでおります。興味があれば是非検索してみてください。

着想としては、深い夜の出会いがあるならどういう感じだろうから始めました。異形を出すのが大好きなので、迎えにくるという形で今回のお話となりました。タイトルはその名残です。

相変わらず私の作品は女の子ばかりだなーと思いつつも、出さずにはいられません（個性強い少女は正義ですからね！）。

二作品についてのあとがきは以上となります。両作品読んでくれた方々、及びこのあとがきを読んでもくれた方々、ありがとうございます！